

□総合戦略の見直しについて

令和元年 12 月、国の第 2 期「総合戦略」が策定され、政策体系に 4 つの視点が追加されました。

この新たな視点は、本市において既に実施している事業目的と一致するものがあり、国と同様に地方創生に向けて重点的に取り組む必要があると考えて、市の総合戦略においても同様の視点を盛り込むため、下図の目標・指標を追加することで一部見直しを行いました。

なお、市の総合戦略は総合計画と一体的に推進するため、総合計画と同様の指標を用います。

横断的な目標の追加

①多様な人材の活躍を推進する

地方創生の取組を点から面に広げるためには、地域に関わる一人ひとりの積極的な参画が必要不可欠です。誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を目指します。

②新しい時代の流れを力にする

Society5.0 を実現するための未来技術は、あらゆる分野において活用のチャンスがあることから、地域課題解決のために導入や活用を推進します。

横断的な目標として新たに設定する指標

成果指標名称	基準値 (H26)	目標値 (R2)
固定的な性別役割分担意識を持つ市民の割合	34.4%	30%
就労訓練施設から就職し、 1年以上働き続けている障がい者数	9人	15人
社会参加・交流している高齢者の割合 (サロン、老人クラブ)	35.4%	40%
児童の ICT 活用を指導する能力を有する教職員	-	82.0%
生徒の ICT 活用を指導する能力を有する教職員	-	67.0%
うらの森農園運営による新規就農者数	-	1人
公共交通機関の満足度	57.0%	65%

基本目標の見直し

①「地方とのつながりを築く」観点の追加

市民が阿賀野市の魅力を理解し、市外の方に阿賀野市への居住や、事業所への就職などを進めることで「関係人口」の増加につなげます。

戦略 No. 4-9 情報発信の強化 に指標を追加

成果指標名称	基準値 (H26)	目標値 (R2)
この1年間で知人・友人に対し、阿賀野市への 居住・観光を勧めたことがある市民の割合	15.7%	20.0%

②「ひとが集う、魅力を育む」観点の追加

賃金ややりがいの面で、だれもが働きたくなる魅力的な仕事の場の創出を支援し、市内事業所の雇用を確保します。

戦略 No. 4-7 創業・事業展開の支援 に指標を追加

成果指標名称	基準値 (H26)	目標値 (R2)
人手が不足している市内事業所の割合	44.9%	40.0%

※総合計画との整合を図るため、基準値は策定時の H26 の値を用いています。